

## 自分の安全を守る、みんなの安全を守る

私が、小学校5年生の時のお話です。

私の友達でAさんという男の子がいました。Aさんは、スポーツが万能でサッカーが上手で、いつも校庭でサッカーをしていたのです。Aさんはある日、ボールを追いかけていたらサッカーゴールに頭をぶつけて10針も縫うけがをしました。

それから、何週間かたって、傷口がやっつくっついて、いよいよ縫っていた糸を抜く段階まで来たのです。その日の休み時間、私とAさんはふざけていました。じゃれ合っているうちに、Aさんの頭がロッカーに当たってしまったのです。もちろん、わざとではありません。Aさんはまた、その傷口が開いてしまったのです。私は、とてもショックで、責任を感じたのを覚えています。

さて、皆さんの学校生活を見ていると、危ない場面がいくつかあります。登校するとき、道のはじを歩かないで真ん中を堂々と歩いている人がいます。後ろから車が近づいてきたりすると、ヒヤッとします。下校するとき、追いかけてっこをしながら走っている人がいます。石につまずいたり、誰かとぶつかったりしたらと思うと、ヒヤッとします。

休み時間、校庭に出る時思いっきり走っている人がいます。学校の中で、鬼ごっこのようなことをしている人もいます。廊下ですべったり、どこかにつまずいたり、誰かにぶつかったりすることが心配です。けがをするのは、自分だけではありません。お友達を傷つけてしまうこともあります。ものを壊してしまうことがあります。

「登下校の際、絶対に走らない、安全に気を付ける。」

「学校の校舎の中で、絶対に走らない。」

このことを約束してください。約束を守って、みんなの力で、安全で、安心なよい学校をつくっていきましょう。